

樋 抜 き の 儀

加古川市志方西地区の5集落の貴重な農業用ため池である
「原大池」で 集落の農地に水を分水する伝統行事“^{ひぬぎ}樋抜きの儀”



ここくほうじょう 五穀豊穡と水利の^{あんらい}安寧のお祈り、
拝礼と振る舞いが終わった後、
原大池の「樋抜き」が行われます。

分水工を経由した水が轟音と共に
水路へ、そして農地へと
美しく流れだします。

と き: 令和7年5月 27 日(火)

10 時 00 分から

ところ: 原大池(加古川市志方町原)

加古川市志方町にある原大池は、江戸時代に魚橋(高砂市米田町)の豪商・神吉久太夫により築造されたと伝えられ、町内最大のため池(面積9ha)です。

原大池は、5ヶ村(横大路、原、成井、永室、西牧)が共同で管理しています。

